

みんなで奏でるひとつの音楽 – 音楽発信基地 in 酒田 –

～ 共生社会の実現を目指して吹奏楽で地域・人を元気に！

演奏活動の更なる展開を目指して ~

《 酒田吹奏楽団の経歴とご紹介 》



(令和 5 年 12 月 4 日 酒田吹奏楽団「スペシャル・ガラ・コンサート」撮影)

1 酒田吹奏楽団の概要について

(1) 酒田吹奏楽団とは

1971年(昭和46年)に創立された社会人を主体とするアマチュアの吹奏楽団です。2021年(令和3年)に創立から50周年を迎えるOB会をはじめ楽団の活動をサポートする外部組織も発足しています。地域の音楽文化の発展に寄与することを目的に、毎年2回の主催演奏会事業をはじめ、全日本吹奏楽コンクールへの出場の他、ボランティア訪問演奏事業、公益演奏事業、学校教育支援事業を実施しています。

(2) 団員の構成と特徴について

酒田市及びその近郊在住の10代から60代まで幅広い年齢層の団員50余名によって構成され、音楽性向上のために高い目標を持ちながら練習に励んでいます。また、所属団員は県内在住者を中心に構成され、会社員、個人事業主、公務員、農家から大学生まで職種も多岐に渡っています。庄内地区外の希望者も入団可能な準団員制度を創設し、不定期な参加も可能とするなど、吹奏楽を楽しみたい人のニーズに応えるサポートなども行っています。

2 主催事業・重点活動事業の紹介について

(1) ボランティア訪問演奏活動

主催事業として社会福祉を楽団の重点事業に位置付け、地域貢献をテーマにして取り組んでいます。平成28年に酒田市社会福祉協議会会長表彰、平成31年に山形県民福祉大会会長表彰を受賞。

また、演奏会などにおいて直接会場に来ることが出来ない層に向け、音楽に触れる機会を提供することを目的にボランティアで実施しています。単なるレクリエーションとしてではなく、来場者や入居者との触れ合いを大切にすることで若い世代の福祉に対する意識の育成も同時に行っています。

令和元年2月に新型コロナウィルスが発生して以降、福祉施設等への訪問は困難になりましたが、令和5年度は情勢を見ながら活動の再開を目指します。



知的障がい者支援施設「光風園」



高齢者福祉施設「徳田山」



親子で参加するわくわく音楽会

[活動一覧(過去5年程度)]

- H30. 4. 1 広野フレッシュダンスクラブ15周年記念ダンスパーティー
- H30. 9. 15 特別養護老人ホーム「徳田山」敬老会コンサート
- H30. 10. 20 光風園まつりミニコンサート
- R 元～R. 3 コロナ禍により活動一時休止中
- R 4. 12. 24 日本海総合病院クリスマスコンサート
- R 5. 2. 12 親子で参加する「わくわく音楽会」
- R 5. 5. 15 オランジェリー山形第2保育園 幼児対象出張演奏

[活動理念]

社会福祉活動としてボランティアを基本に演奏活動を行っています。活動や触れ合いを通じてハンディキャップ負う人々への団員の意識醸成も図っています。

(2) 公益演奏活動

官民間わざ地域イベントにおいて演奏活動を年間通じて行っています。酒田市、商工会議所、中町商店街組合、東北公益文科大学の生徒主催イベントなど多方面に渡り、平成30年度から酒田市公益活動団体に指定されて以降、市内で行われる地域を盛り上げるためのイベントに積極的に関与しています。また、近年は団員による司会育成をはじめ選曲プログラムに力を入れるなど、演奏会に準じた扱いにすることで依頼側のニーズに応える活動を行っています。



MSC スプレンディダ歓迎セレモニー



ミライニオープンセレモニー



SAKATA アートマルシェ

[活動一覧(過去5年程度)]

- R 1. 5.11 ぱしふいっくびいなす寄港歓迎イベント
- R 1. 6.16 中町わくわくマーケット
- R 1. 6.23 ダイヤモンド・プリンセス号寄港歓迎イベント
- R 1. 8.23 東洋開発納涼会
- R 1. 8.24 長応寺納涼祭
- R 1. 9.16 MSCスプレンディダ寄港歓迎イベント
- R 1. 10.20 エプシロンとアンサンブル
- R 2. 10.18 田沢川ダムまつり
- R 3. 9.20 SAKATA アートマルシェ
- R 4. 7.16 酒田「山居バル。」
- R 4. 7.31 「ミライニ」グランドオープンセレモニー
- R 5. 6.13 山形県商工会議所女性会連合会 第39回通常総会
- R 5. 7. 8 鳥海地区「七夕フェスタ」

[活動理念]

公益の観点から地域を盛り上げる企画、賑わい創出に繋がるイベントに出演しています。クラシックのみならず、ポップス・演歌・民謡等多様なジャンルを演奏出来る利点を活かしてその時々に相応しい選曲で臨むことを心掛けるとともに、人との繋がりを重視し、地域に根差した楽団として役割を果たすことが出来るよう、目標を持って活動を行っています。

(3) 学校教育支援事業

地域の音楽文化発展に向けた取り組みの一環として、学校教育・社会教育に重点を置いた活動を展開しており、部活動の地域移行を見据えてサポートを開始しています。学校教育の場においては教員の負担軽減を目的として生徒の初期指導を重点的に担当しており次世代の地域音楽文化を担うリーダーシップある人材を育てる試みとして重点目標として実践しています。



高校生対象管楽器講習会



酒田第二中学校文化祭



幼児による楽器体験

[活動一覧（過去 5 年程度）]

H29. 2. 18 酒田西高等学校楽器講習会
H29. 10. 8 山形県吹奏楽連盟主催バンドクリニック
H30. 10. 21 酒田飽海地区高校生対象管楽器講習会(基礎)
H30. 10. 28 酒田市立第二中学校文化祭共演
H30. 3. 23 酒田飽海地区高校生対象管楽器講習会(発展)
指導実績：H31 29回 / R元 34回 / R2 29回 / R3 42回
(技術指導) R 4 56回

[活動理念]

酒田飽海地区の吹奏楽レベルの向上と共に、将来の担い手を育てる目的を目的に、土日祝日を活用して団員各自が楽器指導を定期的に行ってています。

（4）主催演奏会事業（春季演奏会「定期演奏会」／秋季演奏会「プラスのひびき」）

クラシック、演歌、歌謡曲、ポップスに至る幅広いジャンルが演奏出来る吹奏楽の利点を活かして毎年2回主催しています。近年は演奏技術の向上と共に芸術分野の垣根を超えた企画を立案するなど先駆的な企画が評価され、複数回にわたり1,000人を超えるお客様にご来場いただいています。

① 春季演奏会「定期演奏会」について

4月下旬頃に開催する演奏会です。テーマに沿ってクラシックからポップスに至る幅広い選曲は回を重ねる毎に評価されています。また、演奏を披露するだけではなく、社会福祉活動として、地震や豪雨などに被災した地域を応援する特産品プレゼントなど、独自企画を実施しています。

② 秋季演奏会「プラスのひびき」について

12月初旬に開催する演奏会です。地域・人への感謝をテーマに開催し、歌や写真、ダンスなど他分野と協力した企画が好評を得ています。他にも、恒例のO B会協賛による曲当てクイズ企画は、地元産の新鮮な農産物を景品にするなどその独自性が高く評価され、地域に根差した楽団として多くのお客様に喜んでいただいている。



令和4年度開催 プラスのひびき 2022

（5）全日本吹奏楽コンクールへの出場

合奏力・技術力の向上を目的として、夏季に開催されるコンクールに出場しています。1972年に初出場して以降、演奏事業に力を入れるため不参加を選択する年もありながら、これまで出場を継続しています。1985年に東北代表として全国大会に初出場、2021年に2度目となる全国大会出場権を得ました（コロナ禍により出場辞退）。コンクールは数か月にわたりじっくり曲と向き合える機会ですが、その機会を活用して合奏力・技術力を磨き、主催事業や重点活動事業に活かしています。

[過去の実績]

1985年 全日本吹奏楽コンクール全国大会出場 銅賞（開催地：福岡県）

2021年 全日本吹奏楽コンクール全国大会出場 コロナ禍のため出場辞退（開催地：香川県）

※ 過去4回の他、2009～2021年まで山形県代表として東北大会13年連続出場。

（2022年は創立五十周年記念事業に注力するため大会は不出場）

3 受賞経歴等について

昨年に創立から50年を経過した当楽団ですが、それまで積み重ねた実績と経験が評価され、各種表彰を頂戴しています。頂戴した栄誉に恥じることのないよう、今後も活動の継続と発展を目指して努力して参ります。

[授賞経歴]

平成28年度 酒田市社会福祉協議会会長表彰授賞

平成30年度 酒田市・公益活動団体指定

〃 山形県県民芸術祭奨励賞受賞（プラスのひびき2018）

令和元年度 山形県民福祉大会会長表彰受賞

令和4年度 酒田市 庄内文化賞受賞

〃 山形県県民芸術祭優秀賞受賞（スペシャル・ガラ・コンサート）

4 寄付活動の実施について

2011年に発生した東日本大震災以降、開催する主催演奏会において募金活動を行っています。他にも、2018年に発生した北海道胆振東部地震、2022年のロシアにより侵略されたウクライナへの応援企画などを実施してきました。

また、社会課題の解決を目指す取り組みを応援するという趣旨に賛同し、演奏会内において2015年から赤い羽根共同募金を始め、来場されるお客様に呼びかけて寄付をお願いしています。

(1) 東日本大震災復興支援 合計：296,484円

題名：第39回定期演奏会

寄付先：日本赤十字社

内訳：チケット売上から 96,200円

会場内募金 179,590円

題名：プラスのひびき2012

寄付先：酒田市健康福祉部福祉課

内訳：会場内募金 20,694円

(2) 赤い羽根共同募金 合計：109,193円

[楽団からの直接募金]

年月：2015年12月

内訳：団会計から 50,000円



[演奏会事業における募金活動]

題名：プラスのひびき 2015
内訳：会場内募金 4,510円

題名：プラスのひびき 2018
内訳：会場内募金 4,936円

題名：プラスのひびき 2020
内訳：会場内募金 18,959円

題名：プラスのひびき 2017
内訳：会場内募金 9,074円

題名：プラスのひびき 2019
内訳：会場内募金 14,566円

題名：プラスのひびき 2021
内訳：会場内募金 7,148円

募金総額：405,677円

5 創立60周年に向けた長期目標について

酒田吹奏楽団では、過去10年間（創立50周年まで）の具体的な目標として、①演奏会来場者の1,000人超え、②全国大会への出場を掲げて達成してきました。また、楽団OB会の新規設立、岸洋子を歌いつぐ会や新庄吹奏楽団との相互協力など、外部との関係強化をはじめ、「公益活動」「社会福祉活動」「学校教育支援活動」の3本の柱を活動方針として実践することで、内部体制の確立に繋げています。

しかしながら、演奏活動が充実する一方、著しい変化の中で疲弊してきた部分もあり、楽団の体制強化を図る中で見過ごされてきた負の面もあります。それに加えて、2019年2月に発生した新型コロナウイルス感染症による影響は、楽団の活動に大きなダメージを与えました。活動団員の低下、団員どうしの交流停止によるコミュニケーション不足、直接的ではないものの、解決すべき喫緊の課題になっています。

その課題解決を図るため、酒田吹奏楽団は「コミュニケーションの場として酒田吹奏楽団を育てていく」ことを目標として掲げます。団員どうしの人間的な繋がりを強化し、音楽のみならずコミュニケーションを楽しめる場としての環境づくりを通じ、団員の満足度を高める活動を展開していきます。また、演奏活動の面においては。「酒田市民9万人、庄内地方25万人を対象に楽団の認知度を高める活動」を目標に掲げ、他団体とのジョイントなどを通じて交流の活発化を図っていきます。

地方の人口減少は避けられない未来であり、少子化による吹奏楽人口の減少は市民吹奏楽団にとっての大きな問題です。その問題を先送りすることなく、現時点から取り組むべきものとして捉え、将来にわたって酒田吹奏楽を存続・維持させるための活動を展開していきます。